

2015年度 B日程 【社 会】

1

- 問1 (1) 県名 香川 県 (2点) 記号 C (4点) (計6点)
 (2) 記号 A (4点)
 (2) 説明 年中温暖であるが、夏の時期(8月)に雨がとて (4点)
 【地理分野】 も少ない
 (3) 米作りに多くの水が必要であるが、夏場に雨が少ないの (5点)
で水を供給するためにため池が作られた。
 (4) うどん (2点)

解説 (1)の問いについては、空海の故郷である現在の香川県は、古くは讃岐と呼ばれたことを知っておきたい。(2)の問いの雨温図は、その中心都市である高松市のもので、瀬戸内式気候の典型的な特徴を示している。特に、温暖(冬季でも気温が0度を下回ることはない)で夏場の雨が少ないことに注目したい。(3)の問いについては、米作りには夏場の水の供給が問題で、河川も少ないため、ため池を作ることでこの対策にあたった。(4)の問いのうどんは、こうした気候により、二毛作による小麦生産が盛んになり、作られたと言われている。また、このうどんは、空海がもたらしたという伝説が残る。現在は、讃岐うどんとして香川の名物となっている。

- 問2 (1) 唐(とう) (2点)
 【歴史分野】 (2) シルクロード(絹の道) (2点)

解説 唐の長安と西のローマを結ぶ交通路は、東西貿易の大動脈で東西の文物や文化が相互に伝えられた。特に、絹がその交易の中心であったので、この名がある。一方、この道の東の果てに位置する平城京には、中国経由で絹をはじめガラス製品や陶磁器が伝わった。正倉院の宝物殿にはこの道を通じて伝わった多くの財宝が保管され、毎年開かれる正倉院展でその一部が展示されている。

- 問3 【歴史・地理分野】 おへんろ(お遍路) (2点)

解説 四国にある空海ゆかりのお寺への参拝が、四国八十八ヶ所巡りとなり、こうした参拝の人々がお遍路さんとして親しみを込めて呼ばれ、今日に至っている。

- 問4 【歴史分野】 真言宗 (2点) (記号) C (4点) (計6点)

解説 空海が伝えた密教は、秘密の教えであり、それは真言(マントラ)と呼ばれる言葉に示されるという。また、空海は、修行の地として和歌山に高野山を開いた。

- 問5 【歴史分野】 イ (4点)

解説 富士山は、はじめ自然遺産として認められようとしたが、ゴミなどが散乱して環境が悪化しているために認められず、富士山とその周辺の宗教施設によって山岳宗教の霊地としての文化的価値が認められ、2013年に文化遺産となった。

- 問6 【歴史分野】 エ (4点)

解説 南都とは、平城京つまり奈良を示す言葉である。ア～ウは奈良に建てられた寺で、東寺はこの中で京都にある寺である。空海によって高野山と並ぶ真言宗の拠点として建立された。

- 問7 【歴史分野】 (1) 天台宗 (2点)
 (2) 比叡山(ひえいさん) (2点)
 (3) (ア) 臨濟宗 (イ) 浄土真宗 (ウ) 時宗 各2点
 (計6点)

解説 最澄は本来天台宗を学ぶため唐に留学したが、帰国後、密教の教えに目覚めて空海から密教教典を借りて学ぶなど、積極的に密教の教えを天台宗に取り入れた。このため、空海の真言密教に対して独自の天台密教の教えを深め、比叡山に延暦寺を開いて修行道場とした。

弟子達の活躍もあって、正式な僧侶の資格を与える地位を得て、延暦寺は大きな勢力を築き、以後、多くの僧がここで学んだ。設問にある栄西、親鸞ばかりでなく浄土宗を開いた法然、さらには日蓮宗を開いた日蓮もこの地で修行したと言われている。

(3)の問いについては、やや細かい知識が求められるが、鎌倉仏教を代表する宗派とその創始者であるので、おさえておきたい。

問8 【歴史分野】 (1) ウ・エ

各4点

(計8点)

解説 ウについては、元寇を思いうかべるだろうが、小・中・高校の教科書では、2度にわたって、暴風雨などによって日本に攻め入ることなく、撤退したとの記述があるので、侵攻による大規模な連行はなかったと考えてよいだろう。しかし、詳細を調べれば、元の主力となった兵は朝鮮(高麗)兵で、この兵が、日本に攻め入る途上で対馬や隠岐の島のほとんどの人々を殺し、一部の子どもたちを朝鮮に連れて行ったと記した史料も残っている。

エについては、明治の初め日本と中国(清)は、西欧列強と結んだ不平等な条約とは異なり、日清修好条規という双方に平等な条約を結んだ。

【地理分野】 (2) a) 農産物や魚介類、原料となる原油や鉄鋼が消え(減ったと考えられる) 通信機等最先端の工業製品が輸入されている。(別解:衣類などの軽工業製品が減って、先端工業製品が増えている) (5点)

b) 「安い賃金」で「工業製品」を作り、安価で世界中に輸出して、その割合が多くを占める「世界の工場」になっている。 (6点)

解説 それぞれ、指定した用語を下線部に示したような文脈で適切に使っているかが説明の上でポイントとなる。a)については、グラフを見て大きく変化したもの、特に通信や電算機など最先端の工業製品の輸入が増えていることに注目したい。b)については、それぞれの語句を適切に用いて、世界の中で中国製品が占める割合が高まり「世界の工場」と言われる根拠となっている点に注目して、説明してほしい。

問9 【公民・地理分野】 a) PM 2.5 3点 (記号) C 4点 (計7点)

(時事問題) (1) b) エボラ熱 3点 (記号) B 4点 (計7点)

c) ウクライナ 3点 (記号) A 4点 (計7点)

解説 それぞれ昨年おこった大きな出来事で、世界に大きな衝撃を与えている。こうした出来事については、ニュース報道などが流れた時点で、それがおこった場所や国、地域などを確認する習慣を身につけたいものである。

【公民分野】 (2) ウ (時事問題) (4点)

解説 多文化主義を進める国は、どの国も積極的に移民を受け入れ、人口の増加を図ろうとしていて、比較的歴史の浅い国が多い。しかし、このような動きは、こうした国のみならず世界中で広がっているが、一方、受け入れた移民と従来の住民との間で文化の違いから時に対立が起こるなど、課題も抱えている。

【公民分野】 (3) 多文化主義を進める国では、世界各地からさまざまな民族の移民を受け入れて労働人口の増加を図り、その国の経済発展を図ろうとしている。 (5点)
(時事問題)

解説 多文化主義を受け入れる理由として、下線部のように国の経済発展のために労働者を増やしていかなければならないという事情があることに注目したい。下線部の視点をしっかりおさえて、指示された用語を適切に用いて説明を試みたい。

【出題のねらい】

今回は、高野山が開かれて1200年目にあたる年ということで、唐（中国）への留学生として積極的に仏教を学び日本で発展させた空海の足跡とその後の仏教の発展の歴史から、グローバル化する世界状況のなかでの日本のあり方を展望するヒントを探るという視点で、問題を試みた。

問題の構成としては、地理や歴史分野の基本的な知識を問う設問とともに、受験勉強に必要な教科として社会を学んでいない受験生のために、一般常識を問う設問や、世界情勢に関わる時事問題をいくつか出題した。また、気温図やグラフなどから、気候の特徴や貿易の変化を読み取り、さらに、必要事項を加えて、しっかりと説明できる思考力や表現力を見る記述問題を少なからず設けた。

【講 評】

受験科目として社会科を学習していない受験生もいるので、各受験生相互の得点の差が広がっている。基礎的な事項を確認する問題については、必ず小学校の授業で習ったことも含まれているので、教科書を何度も読み直して重要語句をしっかりと理解し、定着を図る学習をしてほしい。記述問題については、今回の受験生の間では、うまくまとめられている者、ほとんど何も書いていない者と、その差が大きかった。気温グラフや貿易額等の割合を示したグラフなどから変化を読み取ることは、しっかりと考えれば要点はつかめるので、粘り強く考えて欲しい。こうした、自分で理解し、考えたことをまとめて説明する問題については、用語の理解と暗記に留まらないで、日常的に文章で説明する学習方法を身につけて欲しいものである。

時事問題に関しては、ほとんどの受験生は、一定の理解と知識はできているようで、得点率は高かった。時事問題への対策としては、日ごろから国際問題・環境問題等に興味を持って、新聞・テレビ等のニュースをしっかりと理解し、事件がおこった場所やそこで目にした語句などについては、地図や辞書で調べ、その意味をはっきりさせておきたい。